

じしやう

ようちえん通信

vol.49

企画・編集: (株)ASO

2023

0歳からのこども園デビュー
生まれて6か月から
お預かりしています。



子育てという幸せも、園と共に。



0歳児



1歳児



ほしくぐみ & にじぐみ

たくさんの人に囲まれて、
育ちあっていこうね。

みんな元気に大きくなっているよ。





よく動く0・1歳児の 原動力は好奇心。 今日もおひさまを浴びて いっぱい遊びました!

仕事に家事に忙しいママ・パパにとって、0歳から預かってくれる認定こども園は、赤ちゃんにとっても、親にとってもいいこといっぱい。子どもたちはどんな毎日を送っているのかな？先生の子どもへの丁寧な関りは、子育ての参考になることが満載です。

レポーター あきもと さちこ

園の保育ノウハウには、
育児書やネットにはない、
生きた子育ての知恵が
詰まっています。



お芋畑へ。 サツマイモ掘りを見てこよう!

園の畑には季節の野菜が植えられています。この日は幼児クラスのお芋掘りを見学に行きました。0・1歳児にとって、外の世界は何もかもが目新しく、お芋の手触りや重さを感じて興味津々。こうした園の行事には、0・1歳でも楽しめる方法を考えてほとんど参加しているそうです。

赤ちゃんはいつから言葉がわかるの？

最新の脳科学の研究では、生後3ヶ月くらいの赤ちゃんでも、それまでに聞いた大人の言葉を覚えていて、少しずつ理解しはじめています。同時に赤ちゃんも自分の意思をベビーサイン(ジェスチャー・ハンドサイン)で伝えようとしています。

0歳児の先生は赤ちゃんともベビーサインを交えながら会話をたくさんしています。「おはようございます」「手をごしごし洗おう」「もぐもぐおいしいね」「きもちいいね」…。子どもの動作を実況中継するように話すので、言葉がどんどんため込まれていくのかな。

ベビーサインで赤ちゃん楽しく コミュニケーション



土いじり、楽しそう!



外遊び

サイバードリーム

芋ほり見学

オムツ交換



保育の
ひとコマ



おいしいね!



0歳児の食事は 栄養士が個別に対応します。

えんげ
嚥下の変化が大きい0歳児は、もぐもぐしているか、飲み込んでしまっていないかなど、食べる様子を栄養士が直接見に来て、個別に食事内容を決めているそうです。食物アレルギーの対応も、細かにチェック。離乳食カードを毎月提出してもらいWチェックで対応しています。



「どの先生も、うちの子のことをちゃんと見ていてくれる」

丁寧できめ細かな保育を支えているのが、子どもたちを見守る先生たちです。配置基準を超える先生の人数と連携のよさもあって、「うちの子どうですか?」と聞くと、どの先生も細かく答えてくれる(保護者)といううれしい声も聞こえてきます。「乳児期に大切にしたいのは『愛着の形成』です。困ったときにしっかり受け止めてくれる先生がいることで、安心の基盤ができていくのですね」と先生は話してくれました。

いろいろな情報発信

一人ひとりの様子を伝えています。



連絡帳
(毎日)



ラーニングストーリー
(月1回)
その子らしいエピソードを写真と文字で。



インスタ、動画配信
クラスの様子を写真や動画で。

♪グーチョキパー♪



0歳から英語に楽しくふれています。(サイバードリーム)



♪やまのこやまのこ
オナガがグルー♪

親子でゆったり、のんびり遊ぶ 『ぽかぽか』に遊びにきてネ。

0・1・2・3歳児を対象とした無料の親子イベントです。楽しいプログラムがいっぱい!



取材を終えて

取材してみて、載せたいことはたくさんあったのですが、限られた紙面の中でその一部しか紹介できないのは残念です。それでも1つだけ。先生たちの子どもたちへの目配りは、さすがにプロフェッショナルでした!

イスの消毒・連絡ノートを書く



先生の重要な仕事です

午睡



0歳児は呼吸モニターを装着しています。

気持ちは受け止めつつ、しつてもしっかり！ 子どもの気持ちに寄り添う かかわり方のヒント

「子どもの気持ちに寄り添ってと言われるけれど、これでいいのかなと迷うときも…」という声も。そこで今回は「子どもの気持ちに寄り添うかかわり方」について、専門家の先生にやさしく解説していただきます。



お話／日本抱っこ法協会公認ホルダー
阿部優美先生



◎.そもそも「気持ちに寄り添う」って どういうこと？

気持ちに寄り添うとは、「相手の気持ちを受け止めて、共感すること」。たとえば、子どもがニコニコ楽しそうに遊んでいるときは「うれしいね」、転んで泣いたときは「びっくりしたね。痛かったね」など、その時々の子どもの気持ちを想像して、共感して、それを言葉や表情で伝えてあげること。それが気持ちに寄り添うということです。



◎.「子どもの気持ちに寄り添う」、 どうして大切なの？

気持ちに悪いものはありません。たとえば2～3歳児がお得意の「イヤ！」にだって「そうか。イヤなんだね」と寄り添ってあげてOKなのです。

どんな気持ちも認め、受け止めてもらうことで、子どもは少しずつ「自分のいろいろな気持ち」に自分自身で寄り添うことができるようになります。それが自己肯定感につながります。



◎.気持ちに寄り添ってばかりでは わがままにならない？

「子どもの気持ちに寄り添う」と「子どもの要求を受け入れる、言いなりになる」とは全く別のこと。ここはとても大事なポイントです。

たとえば、公園遊びで「もう帰るよ」と声をかけても、子どもは「ヤダ！まだ遊びたい」という場合。「まだ遊びたい」という気持ちには「そうだよね。もっと遊びたいよね」と寄り添ったうえで、「でも、もうごはんの時間だから今日はここまでね」とできない理由をシンプルに伝えて、行動を促しましょう。

子どもの気持ちは100%聞くけれど、安易に「しつつけの枠(ルール)」は崩さない。これが「子どもの気持ちに寄り添いつつ、子どもの言いなりにはならないかかわり方」の基本です。

「自分の気持ちをコントロールする練習」を 少しずつ

子どもの気持ちを大切に思うと、「親が決めた都合を無理じいしていいのかな？」とためらう気持ちがわいてきて、つい粹をゆるめがち。そんな声もよく聞きます。

もちろん日々の子育ての中では、親がちよっと譲歩したり、「今日は特別ね」ということがあってもいいのですが、子どもがイヤイヤするたびに親がグラついていては、子どもの中に「自分の気持ちをコントロールする力」が育ちません。

「今日はここまで」と決めた時間になったら、子どものヤダにひるまず、「もっと遊びたいよね。帰るのヤダよね」と気持ちを代弁しつつ、手を引いて(あるいは抱っこで)ヤダヤダの気持ちは体でも受け止めつつ、しっかり連れて帰りましょう。

目指すイメージは「信頼できるボス」

子育て中の親が目指すイメージは「信頼できて頼りがいのあるボス」。頼もしいボスは部下の言うことにいちいち流されたりはしませんよね。うんうんと話は聞いてくれて気持ちもわかってくれるけれど、でも間違ったときはきちんと注意してくれて、やがて立派に独り立ちできるよう導いてくれるはず。子どもとのかかわり方に迷ったときは、そんなふうを考えてみてはいかがでしょうか？

わかっているけど、子どもに寄り添えない。 そんなときは…

自分の気持ちに余裕がないときには、人の気持ちにも寄り添えないもの。子どもの気持ちをうまく受け止められないときは、「もしかしたら、私、いま余裕がないのかも」とご自分を振り返ってみてください。ゆっくり話を聞いてもらったり、愚痴をこぼしたり。誰かに気持ちを受け止めてもらえるだけでほっとして元気になるのは、大人も子どもも同じです。

取材・文／中島恵理子



阿部優美 Abe Yumi

日本抱っこ法協会公認ホルダー、言語聴覚士。「心を育てる抱っこの会」メンバー。子育てに悩むお母さんの相談を中心に、3歳児健診、保育園の巡回相談、発達相談などに携わるほか、子育て関係の講演、保育・福祉に携わる職員研修など精力的に活躍中。
心の相談室「とうげのちゃや」(東京・府中市) 主宰。

<https://kokoronodakko.com/>
「ママも子どもも楽しく！子育て法」HP →



『親子でうれしい イヤイヤ期のしつけ』
子育てが楽しくなるヒントがいっぱい！

※購入方法は
日本抱っこ法協会 HP を
ご覧ください。
<http://dakkohou.com/>

